ふかまちのまど

第九号
九四年一月一日

新年を迎えて

深町町内会連合会会長
高崎　修

町内の皆々様には、ご一家お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、我国では、よもやの社会党首班の政権が誕生するなど政治の流動化が著しく、経済的にはバブル崩壊後の不況が長引きましたが、ようやく上昇に転じ、今年はゆるやかながら回復してゆくものと期待されています。

深町においても昨年九月には、如水館高校の移転開校という画期的な事業により、毎日千数百名の学生を迎えることとなりました。

本年も県道五五号線が夏には完成して三原への交通が至便となります。

又、交通量の増加に伴い、要望の多かった大池～小学校間の歩道設置についても地権者のご協力により実質的に動き出すことになっているはずです。

これだけ深町を取り巻く環境の変化が大きい時期はかって無かったことであります。

社会的にも少子高齢化社会の進展による高齢者を中心とする福祉の問題、益々悪化して放置出来ない環境問題についても深町で、取り組まなければなりません。

深町には農村の気風がなお濃厚に感じられますが、純朴な良風は維持しながらも近代的息吹の導入もはからねばならない時期と考えます。

経済状況の好転が予想される今年こそ、町内の交流を深め、未知の新しい問題に対しても、積極的に取り組んで行くことにより、明るく、和やかな住みよい深町の建設が進展することを期待します。

町民各位の町内会連合会へのご支援ご協力をお願い致します　▲▲

鼻の三原則

石井良雄

元神戸大学教授森信三先生は、教育学者で哲学者。それに日常の座り方とか、風呂の入り方とか、食事の仕方とかいうような、生活の端々までいつも工夫しておられる実践人です。

一、「はい。」という返事

これは、親の知識や教えを何の疑いもなく受け入れて、子供が素直に育つ名薬といってよいでしょう。

この「はい」は、例えて言えば茶碗を両手に持って親が水をついでくれるのを待っている姿勢です。親が水を注げば注いだだけ水が茶碗の中にたまります。もし、この茶碗がふせてあったら親がいくら水を注いでも水はたまらないでしょう。

この「はい」ていう鼻がついたら宝物のようなもので、学校へ上がっても、先生の言うことをよく聞いて素直に育っていくと思います。

二、「おはようございます。」

昔から親しい中にも礼儀あり、と言われていますが、家庭の中でみんながこの挨拶ができたら本当に立派な家庭だと思います。これを鼻るには、親の方から、先ず「おはようございます」と言わなければなりません。この鼻がついたら次第に「お休みなさい」「いただきます」とか言うような挨拶も自然にでるようになるでしょう。

◆　◆　◆　◆

三、履物を揃えること

履物を揃えることは、人間にしまりをつけることです。人間にしまりがないと財布の底に大きな穴があいているようなものです。

この子が大きくなって結婚したとき、こんなようすでは相手が困るでしょう。テーブルについている時、立ち上がって離れる時、必ず椅子を入れることもおなじょうに大事な鼻です。

三原則は以上ですが、この外にもう一つ加えますと、人から物を貰ったとき、「ありがとう」と言う鼻も大事です。近頃の若い人は、どうもこの「ありがとう」と言う言葉を忘れているのではないかとおもいます。

扨、鼻は親がこの子の将来のことを考えて、「如何に生きるべきか」と言う人生のレールを敷いてやることです。余り迷わずに目的地に着くとおもいます。鼻けるには余程の根気が必要です。根くらべです。頑張ってください。▲

どなたか十二月に干川神社境内の清掃をしてくださいました。気持ちのよい新年を迎えることができました。――謝。

下宿を探しています

如水館高校では、遠方からの入学生用に下宿を求めています。
問い合せ＝平岡☎63－3887

一月各種団体行事予定

★尚寿会
▼新年宴会（竹原）一月一二日

★小学校
▼始業式一月九日▼参観日一月二十日▼竹馬大会一月二十一日
▼とんど祭り一月二九日八時半

★女性会
▼新年宴会一月一四日

★消防団
▼出初一月八日。同日総会

★町内会
▼年度定例総会・上＝一月一六日中＝一月二九日（当日ゴミ有料化説明会）
▼下＝総仏さん一月一一日・トンド祭り一月一五日・ゴミ有料化説明会一月二二日

展望席

新しい年を迎えれば、日本中いたるところで新年の抱負や決意が述べられる。その最たるものが政治家のそれであると思う。身近かなところでは、組織のトップによる基本計画の発表がある。

▼年初述べられる言葉には含蓄があり、謹んで拝聴しているが「結果」はついぞ聞かない。あっても、社会情勢の変化とか、努力云々で片づけられ、その間に「何故」がない。▼進歩や改革にはこの何故の追求が不可欠である。これがなければ昨日の繰り返しにすぎぬ。これを正すには方針や抱負を数値化（具体的に）することである。▼どこの家庭でも、年末には収支決算書をみて、泣いたり笑ったりする。年初の蓄財計画でお金ならぬ「知的蓄財」の計画書をつくり、年末に「何故」を追求してみるのも、人生に深みをもたせる手段の一つである。個人にも目標管理思考は必要かも知れない。

10　外部・郵便局・JA支所・小学校・水館・駐在所・中学校・配布先・上